

## (7月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		9,970	98	10,316	83	100	85	4	-	北海道、青森産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産の露地ものの生育は、融雪の遅れから例年より7～10日程度の遅れで7月23日頃からの出荷となる見込み。青森産も低温の影響で、例年より10日程度の遅れとなっているが、根部の肥大は良好。現在、トンネルもの中心の出荷で、露地ものは7月から出始め、7月上旬にピークとなる見込み。全体の入荷量は、作付減などの要因により、少なかった前年並の見込み。
にんじん		6,609	100	6,944	113	95	122	-	-	青森、北海道、千葉産中心の入荷で全体の9割以上を占める。青森、北海道産は、低温の影響で例年より7日程度の遅れとなっている。作付もやや減少しており、小ぶりのため、出荷量は少なかった前年並の見込み。千葉産は、ここ数年作付面積が減少傾向にあるものの作柄は良好。全体の入荷量は前年並、価格は中国産の輸入増加に伴い前年をやや下まわる見込み。
はくさい		5,502	95	6,979	71	95	69	-	-	長野産中心の入荷で全体の約9割を占める。長野産は、生育の遅れは解消しているが、作付面積の減少により出荷量は前年を下回り、価格も6月の安値が見通しを悪くし、前年をやや下まわる見込み。
ほうれんそう		1,131	102	1,175	563	100	591	-	-	岩手及び茨城、栃木の関東産が市況をリードする。各産地とも、生育は概ね順調。全体の入荷量・価格は前年並の見込み。
キャベツ類		15,260	100	15,309	87	85	77	-	-	群馬、岩手産中心の入荷で全体の約8割を占める。各産地とも、干ばつの影響でやや小ぶりの仕上がりとなっているが、全体の入荷量はほぼ前年並、価格は6月からの低迷が続き、前年を下まわる見込み。
ねぎ		4,297	103	4,473	224	105	239	4	0.1	茨城、千葉産中心の入荷で全体の約7割を占める。各産地とも生育は順調。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は、昨年が台風の影響による品質低下のため安値であったが今年は平年並みで推移する見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		8,717	103	8,893	124	85	123	-	-	長野産中心の入荷で全体の約7割を占める。低温による生育の遅れは回復しており、6月の出遅れ分が7月に集中する見込み。玉肥大は良好でL中心。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は6月の低迷は脱するものの、依然として前年を大幅に下まわる見込み。
きゅうり		9,085	95	9,299	164	110	207	232	2.8	福島、岩手を中心とした東北産が市況をリードする。福島産はやや干ばつがみで樹勢の低下が懸念されるものの、生育、品質ともに順調。岩手産は露地ものが低温の影響で1週間程度遅れ、7月10日頃からの出荷となる見込み。昨年は、猛暑の影響で生育が大幅に前進化し、入荷増の単価安という状況であったが、今年は、全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
なす		5,221	95	5,066	183	130	244	-	-	栃木、群馬、茨城、埼玉など関東産中心の入荷で全体の約8割を占める。関東の主産地は、干ばつの影響で生育はやや遅れ気味となっている。昨年は猛暑による前進化で例年になく入荷増の単価安となったが、今年は入荷量、価格ともほぼ平年並の見込み。
トマト		9,691	100	10,187	257	93	242	365	3.8	青森、福島、岩手など東北産中心の入荷となる。東北の主産地は、低温の影響による生育の遅れも回復してきており、着果、果実肥大とも概ね良好。入荷量・価格とも前年並の見込み。
ピーマン		2,659	95	2,461	159	130	216	-	-	茨城、岩手産中心で全体の約8割を占める。茨城産は終盤をむかえるが、生育は概ね順調。岩手産は、低温の影響で7日程度生育が遅れているが、7月には回復する見込み。昨年7月は、入荷増のうえ、猛暑で火を使った料理が不振であったことから、価格は低迷したが、今年は、入荷量・価格ともほぼ平年並みの見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ばれいしょ		5,599	92	6,028	92	125	110	9	0.2	静岡、長崎、千葉産中心の入荷となる。静岡産は作付面積の減少と干ばつによりやや小ぶりでM中心の出荷となるため、出荷量は前年を下まわる見込み。長崎、千葉産も肥大不足で出荷量は前年をやや下まわる見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は安値であった前年を大幅に上回る見込み。
たまねぎ		10,777	100	12,110	93	100	80	-	-	佐賀、兵庫産中心の入荷で全体の約6割を占める。佐賀産は干ばつの影響で玉の肥大が懸念されたが、現在のところ順調で出荷量は前年をやや上回る見込み。兵庫産は干ばつの影響で若干小玉傾向のため、出荷量は前年をやや下まわる見込み。全体的に入荷量、価格は前年並の見込み。
えだまめ		1,951	105	1,994	689	100	613	41	2.1	群馬、千葉、埼玉産中心の入荷で全体の約8割を占める。群馬産は現在トンネルものが出荷開始となっており、作柄は概ね良好で出荷量は前年並の見込み。千葉産は生育に特に遅れはみられず順調で、出荷量は少なかった前年をかなり上回る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は異常気象であった昨年より良食味のものが期待され前年並の見込み。